

書名	奈良にうまいものあり！伝えたい郷土の味100話		著者名	監修:奈良の食文化研究会			
出版社	なら文化交流機構	ISBN	978-4-91089503-1	本体価格	¥1,500	発売	2025/2/3
内容	悠久の歴史に息づく「奈良の味」。そうめん、柿の葉すし、清酒など、奈良がルーツのものから、氷の神様、果物の神様、饅頭の神様など、奈良の食にまつわる伝承まで。奈良の食文化の魅力をたっぷりご紹介！						

書名	袋中上人と山の寺念仏寺		著者名	監修:念仏寺・元興寺文化財研究所			
出版社	なら文化交流機構	ISBN	978-4-91089500-0	本体価格	¥1,500	発売	2025/2/3
内容	令和4年(2022)、念仏寺は開創400年の節目に当たり、元興寺文化財研究所の若手研究者が5年前から念仏寺の調査。その調査・研究の集大成として出版しました。檀家の能楽師一族「金春宗家」、奈良町の絵師「竹坊」とのかかわり、元興寺の智光曼荼羅のこと、鎮守の源九郎稻荷社への信仰、文久の修陵と弘法山の「開化天皇陵」のこと・・・など、多くの史料をひもとき、まとめられた一冊です。この一冊で江戸時代の歴史都市「奈良」の町の姿や浄土信仰の一端をうかがい知ることができます。						

書名	中西進と万葉画を楽しむ		著者名	中西進、井上さやか／著			
出版社	淡交社	ISBN	978-4-47304656-7	本体価格	¥1,800	発売	2025/2/7
内容	『万葉集』研究の第一人者で、奈良県立万葉文化館名誉館長でもある中西進氏が、27首の万葉歌をモチーフとした「万葉日本画」(奈良県立万葉文化館所蔵)を通して、思い起される様々なことを綴った随想を「歌の彩り」「心の模様」「時の移ろい」の三章に分けて掲載しています。「中西万葉学」と評される業績を持つ著者が、万葉歌や鈴木竹柏・加山又造・上村松篁など27人の現代日本画家が描いた作品の解説をするのではなく、「万葉」に対する知見や想いなどを語ることで、読者をより広く深い思索の世界へいざなう内容となっています。						

書名	ゆるり 愛しのひとり旅		著者名	おづまりこ／著			
出版社	文藝春秋	ISBN	978-4-16391949-2	本体価格	¥1,300	発売	2025/2/19
内容	「20年間あこがれの奈良の古民家カフェに感動」「尾道の街角で猫とノスタルジーにふれる。そしてレモンケーキ食べ比べ」「札幌のコンビニで地元民気分♪ さらに六花亭でお菓子爆買い!」「パン屋天国・神戸で新店、老舗をめぐる」「倉敷で白鳥にうっとり、思い出のマスクングテープに再会」など、著者ならではの「ひとり旅」の楽しみを描きます。						

書名	奈良・薬師寺のお坊さんが処方する108のことばサプリ			著者名	根末穆道／著		
出版社	オレンジページ	ISBN	978-4-86593729-9	本体価格	¥1,600	発売	2025/2/25
内容	自分を責めたり人をねたんだり怒りをコントロールできなかつたり……。モヤモヤを抱えて生きる私たち。日々の暮らしで誰もが思い悩む108の煩惱に響く仏教の言葉を、日本有数の古寺・薬師寺の若手僧侶が自らの体験を交えて伝えます。心にじわっと広がる安堵感を体感して。						

書名	いざいざ奈良 御朱印帳			著者名	ウェッジ／著		
出版社	ウェッジ	ISBN	978-4-86310293-4	本体価格	¥2,800	発売	2025/2/25
内容	奈良は、行くからおもしろい。奈良は、教科書や修学旅行で見聞きしたことだけじゃない。大人になって気づく奥深い再発見ができる場所—1300年以上の時を超えて、今も受け継がれる悠久の歴史。そして、歴史を紡ぎ生まれる新しい魅力。知るほどに面白く、好奇心をかきたてられる、そんな奈良の旅へ誘います。						

書名	大和怪異記			著者名	福井栄一／著		
出版社	現代書館	ISBN	978-4-76845972-0	本体価格	¥2,000	発売	2025/2/27
内容	宝永六年(1709年)に刊行された編纂者不明の怪談集の本邦初現代語訳。原著は東北から九州まで、古くは奈良時代に残された怪異を短話形式で計105篇おさめた古典怪談のアンソロジーである。						

書名	飛鳥宮の儀礼と空間構成			著者名	編集:田島 公、海野 聡、鶴見 泰寿		
出版社	八木書店	ISBN	978-4-84062608-8	本体価格	¥8,000	発売	2025/2/27
内容	飛鳥時代の王宮「飛鳥宮」や周辺の空間構成に注目し、文献史学・考古学・建築史学の第一人者が集結し論究した、学際的研究の集大成！ 舒明天皇から持統天皇による藤原京遷都まで、天皇の居所であり政務・儀礼の場となった飛鳥宮とその周辺について、最新の発掘調査を踏まえ複眼的に検証！						